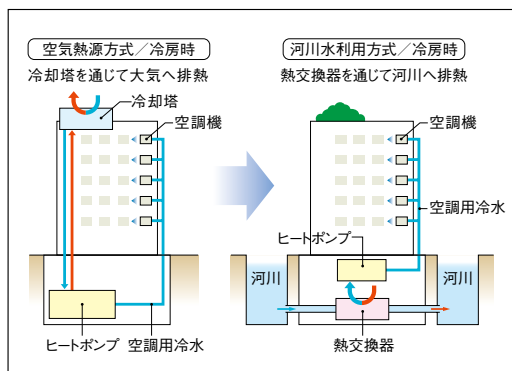


## ■ 中之島線の環境対策

平成20年に開業した中之島線の大江橋駅では、地上から太陽光を取り込み、地下階の壁面・床面に自然光を照射することで、消費電力を年間約500kWh、CO<sub>2</sub>排出量で年間約300kg削減。なにわ橋駅でも太陽光採光システムで消費電力を削減しています。

また、中之島駅・大江橋駅・なにわ橋駅では、駅冷房によって発生する熱を直接大気に放出するのではなく、河川水に吸収させることでヒートアイランド抑制の対策としています。



河川水の温度差エネルギー活用

## ■ 鉄道設備のLED化の推進

駅や車両などの鉄道設備で、省エネルギー化に向けた取り組みを進めています。

寝屋川車両基地では、車両工場や検車庫の天井照明を水銀灯からLEDへと更新、淀車庫では、車両の進入番線を表示する信号機9基のLED化を図りました。

駅では、照明更新時にLED等の高効率器具の導入を進めており、平成27年度には出町柳駅他6駅においてホームおよびコンコース照明のLED化を図りました。

鉄道車両の車内灯・前部標識灯(ヘッドライト)のLED化も進めており、平成28年3月31日現在、車内灯は691両中97両、前部標識灯は231両中84両をLEDに更新しました。



寝屋川車両工場のLED化



駅照明のLED化(出町柳駅)



車内灯のLED化

## ■ 太陽光発電システムの設置

経済産業省による「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が平成24年7月から開始されたことを受け、再生可能エネルギーの普及促進に貢献するとともに、鉄道事業における社有地の有効活用を図ることを目的に、平成26年9月に橋本駅付近、平成27年9月に中書島駅付近に太陽光発電システムを設置しました。

2カ所合わせた発電量は約104,000kWh/年となり、一般家庭が消費する電力の30世帯分に相当し、年間33,000kgのCO<sub>2</sub>削減の効果ががあります。



太陽光発電システム(中書島駅付近)

## 公共交通利用促進

### ■ パーク&ライド

京阪電気鉄道(株)では、京都方面に観光等で来訪されるマイカー利用者へ、平成17年より浜大津公共駐車場などをパーク&ライド駐車場としてご案内しています。

また、平成23年7月より同社とタイムズ24(株)は、京阪電車沿線の時間貸駐車場「タイムズ」において、全国で初めて、交通ICカード「PiTaPa」と「ICOCA」のどちらでも支払い可能な電子マネーサービスを導入するとともに、「PiTaPa」と「ICOCA」を用いて電車をご利用のお客さまに駐車料金を優待する「交通ICパーク&ライドサービス」を開始しました。



タイムズ京阪六地蔵駅前

### ■ サイクル&ライド

京阪電気鉄道(株)では、市街への自動車の流入を抑制して電車の利用を促進するため、関係行政と連携し、必要に応じた駐輪場の設置や現在問題となっている放置自転車対策についての協議を進めています。

平成27年度は出町柳駅にて駐輪場を増設するとともに、平成27年7月1日より三条駅と六地蔵駅において、同社が所有している公共性の高い駅前広場などが京都市の自転車等撤去強化区域に指定されました。



出町柳駅前駐輪場